

令和3年度
佐世保市立図書館事業報告

佐世保市立図書館

令和3年度 事業報告

(令和3年度概況)

図書館は、市民の自主的な学習を支援し、課題を解決する地域の情報拠点、次世代を担う子どもたちをはじめとするすべての市民の豊かな読書活動の拠点としての取組みを推進するとともに、市民に親しまれ、人が交流する拠点施設としての役割を担っております。

このことを踏まえ、佐世保市立図書館は、令和2年3月に「佐世保市立図書館運営方針」を策定し、『知に出会い、人が集い、学べる図書館～市民とともに育つ図書館～』を基本理念として掲げ、「佐世保市教育振興基本計画（第3期）」においても、教育施策の「生涯学習・生涯スポーツの充実」を担う様々な取組みを推進しています。

令和3年度は、依然として新型コロナウイルスの厳しい感染状況が続くなか、感染レベルに応じたサービス縮小を行うとともに、8月24日から9月24日まで、日曜・祝日を除く開館時間を2時間短縮（18時まで）する時短営業を実施しました。

また、令和4年4月からの中央公園のリニューアルオープンに合わせて、図書館第1駐車場と第2駐車場の有料化工事を実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、おはなし会、英語イベント、雑誌のリサイクル市など事業の一部を中止せざるを得ませんでした。しかし、「図書館まつり」や「夏休み図書館探検ツアー」の再開、「図書館活用講座」や外部講師を招いての講演会をオンラインで開催するなど、令和2年度と比較して事業実施数は増えました。また、令和3年10月から新たに電子図書館サービスを開始するなど、コロナ禍でも対応できるサービスにも取り組んでいます。

子どもの読書活動推進については、新型コロナウイルス感染症対策による大きな影響を受けましたが、「第三次佐世保市子ども読書プラン」に基づき、子どもたちが年齢に応じた本と触れ合うことによって、本の楽しさを発見し、身近に読書に親しめるよう、また、子どもたちが主体的に情報を選択し、自分の考えをまとめ、人に伝えることができるよう、ブックスタート、学校等支援、図書館を使った調べる学習コンクールなど、様々な取組みを行いました。

年間利用者数については、前年度と比較して1,301人の減となりましたが、貸出者数（延数）と貸出冊数については、それぞれ19,539人、66,218冊の増となっており、新型コロナウイルスが全国に拡大した令和2年度と比べ、持ち直しの兆しがみられました。

■主な利用実績

項目	令和2年度	令和3年度	増減
年間利用者数	219,667人	218,366人	▲1,301人
貸出者数（延数）	185,429人	204,968人	19,539人
貸出冊数	816,489冊	882,707冊	66,218冊
インターネット蔵書検索利用件数	774,681件	802,609件	27,928件

主要事業

(1) 一般室

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
ビブリオバトル (オンライン開催含む。)	5月22日(土) 図書館A会議室 9月23日(木祝) 視聴覚室 11月14日(日) アルカス佐世保 (交流スクエア)	Web会議システム Zoom によるオンライン開催。 11月については、対面とオンラインのハイブリッドで実施。	8人 8人 30人
上映会	毎週水曜日(28回開催) 視聴覚室 毎週金曜日(28回開催) 視聴覚室	金曜日の上映会を再開。コロナのレベルに応じプログラム・座席数を変更しながら開催。	383人 平均14人 337人 平均12人
特別上映会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
図書館活用講座	7月4日(日)	図書館 HP の検索のコツやコンテンツの紹介、自宅でも使える便利なデータベースやデジタル資料の紹介などを実施。	受講7人 見学4人
『太宰治の生家「斜陽館」から読む太宰作品』	10月30日(土) 視聴覚室	佐世保ねぶた祭り実行委員会主催。青森県五所川原市とオンラインで結び、会場を含めたハイブリッドで実施。	21人
国際交流員 韓国文化講座	11月21日(日) 視聴覚室	一般室での「多文化共生」の特別展示(11/15~21)の関連講座として、企画部国際政策課が主催した文化講座。	11人
一般室展示	通年	一般室内の3コーナーで、職員が持ち回りで所蔵図書をテーマごとに紹介した。	展示3コーナーで計30件
特別展示	通年	本市各課ほか、希望があったもの(テーマを設定してパンフレット等を準備)を、コーナーを設置して展示。	12件

(2) 児童室

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
おはなし会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
おたのしみ会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
ちいさい子向けおはなし会「とことことこ」		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
赤ちゃん向けおはなし会「いないいないばあ」	毎週木曜日（26回開催） おはなしの部屋 児童室中央フロア	絵本の読み語りや手遊び、パネルシアターなどを行った。 佐世保市の新型コロナウイルス感染レベルに応じて人数制限や、場所を変更して行った。	439人 平均16人
ブックスタート	4ヶ月児健診日（42回実施） 中央・東部・宇久保健福祉センター 江迎・小佐々支所	4ヶ月児健診会場において、ブックスタートパック（絵本やおすすめ絵本リストなど）を渡し、図書館のご案内を行った。	1,509人 平均35人
第5回図書館を使った調べる学習コンクール	7月～9月 市内小学校・義務教育学校に通学する児童	コンクールを開催し、市内全小学校へポスター、チラシを作成・配布し募集を行った。	応募作品 33点
図書館を使った調べる学習講座	8月1日（日） 8月7日（土） 8月8日（日） オンライン開催	百科事典や図鑑の使い方、調べるテーマの決め方などについてオンライン講座を行った。	低学年10人 中学年6人 高学年3人
読書週間イベント「秋の読書ラリー」	10月27日（水）～11月26日（金） 児童室	本の貸出数に応じ、スタンプを押すスタンプカードを配付した。スタンプの数によりプレゼントを渡した。	456人
みつけて！クリスマス	12月18日（土） 12月19日（日） 児童室	初級編（小さい子向け）と上級編（小学生向け）の2種類のクイズを行った。	136人
読み語り講座「子どもと楽しむ絵本」	3月19日（土） オンライン開催	職員が講師となり、絵本の読み方、選び方などの講座を開催した。	13人

学校等支援	通年	授業支援のための資料貸出、ブックトーク等を行った。	582 件
本の作り手に聞いてみよう!! 「一冊の本ができるまで」	8月21日(土) オンライン開催	福音館書店の田中健一さんを講師としてお招きし、絵本ができるまでの過程など、編集者の仕事内容等をご講演いただいた。	24 人
本の作り手に聞いてみよう!! 「『かんころもちと教会の島』ができあがるまで」	10月3日(日) オンライン開催	月刊たくさんのふしぎ『かんころもちと教会の島』の作者であるにしむらかえさんを講師としてお招きし、作品完成にいたるまでのお話や、地元の食文化や信仰などについてご講演いただいた。	20 人
なぞ解きイベント「ひゃっか王からの挑戦状」	10月5日(火) ～11月28日(日)	株式会社ポプラ社の協力を得て、百科事典を使ったなぞ解きを2部構成で実施した。	194 人
児童展示コーナー	通年	季節や行事に関連したものを集めた展示や、職員による企画展示を実施した。	

(3) 郷土資料室

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
夏休み郷土学習教室	7月31日(土) 福井洞窟 福井洞窟ミュージアム	児童をはじめとした参加者に対し、郷土史跡の現地解説を行った。	21 人
児童・生徒の郷土研究発表会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
郷土研究所の公開発表会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
古文書解読初級・中級講座		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

市民ギャラリー展示会	通年中2階市民ギャラリー展示会コーナー	芸術文化活動などの発表の場として、絵画等の展示を行った。	12回実施
郷土展示コーナー	通年	毎月テーマを決めた展示を行い、資料等の紹介を行った。	12回実施

(4) 移動図書館

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
はまゆう号巡回	通年 個人貸出 30 箇所 団体貸出 49 箇所	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら運行	巡回日数 201 日

(5) 共通

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
第5回図書館まつり	5月3日(月祝) 5月4日(火祝) 5月5日(水祝)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館まつりクイズ&スタンプラリー ・子ども向け上映会 ・図書館員おすすめ本 ・特別展示 ・写真展示 ・みつけて! SABON ちゃん 	586人 750人 854人
英語 de 図書館		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
図書館 de L I V E		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
リサイクル市		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
夏休み図書館探検ツアー	7月22日(木)	午前10名午後10名で小学校高学年を対象に館内の見学を行った。	20人

少年科学館プラネタリウムイベント「本と星と宮沢賢治の世界」	6月19日(土) 少年科学館プラネタリウム「星きらり」	プラネタリウム投影イベントとしてアニメーション「わたしはだれでしょう？」と宮沢賢治のブックトークを行った。	30人
電子図書館サービス開始	10月1日(土)	スマートフォンやパソコンで、いつでもどこでも電子書籍を借りて読むことができるサービス。1人2冊/2週間。図書館の利用登録が必要。	コンテンツ数 8,681(R4.3月末) 貸出回数 1,088(R4.3月末)
図書館職員のおすすめ本の紹介(階段展示)	通年	毎月17冊の本の紹介を階段室壁に展示した。	204冊

(6) 西九州させば広域都市圏事業

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
利用者登録・貸出	通年 (佐世保市・松浦市・佐々町・川棚町・波佐見町・東彼杵町・小値賀町)	佐世保市と連携市町相互間で利用者登録・貸出を行った。	有効登録者数561人。 のべ貸出者2,883人。 貸出冊数10,928冊。
配送サービス	毎月2回(年24回実施)(佐世保市・松浦市・伊万里市・佐々町・川棚町・波佐見町・東彼杵町・有田町)	地元図書館での本の返却サービスと連携市町相互間での相互貸借資料の配送サービスを行った。	1,083冊 平均45冊 (内訳:貸出198冊。返却885冊。)
図書館相互レベルアップ 福音館書店 山形昌也さん 講演会	11月1日(月) 佐々町地域交流センター (佐世保市・松浦市・伊万里市・佐々	連携市町の図書館職員、利用者等を対象とした講演会、研修会等を実施するもの。 福音館書店の山形昌也さんを講師としてお招きし、「科学絵本って楽しい!『かがくのとも』の作り方」を講演テーマとし、それがどのようにして	55人

	町・波佐見町)	つくられるのか、作品に込められた思いや届けた いもの、科学絵本の楽しみ方にいたるまで、作り 手の立場からご講演いただいた。	
図書館相互レ ベルアップ 職員向け研修 会	3月14日(月) 視聴覚室(オンライ ン研修)	大分県杵築市立図書館の檜原啓一(ひばる けい いち)館長を講師としてお招きし、「これからの図 書館を支える人材とは」を講演テーマとして、コ ロナ禍やD Xの推進により利用者を取りまく社 会環境が急速に変化するなか、図書館や図書館職 員に求められることなどについて、ご講演いただ いた。	32人

■事業評価

昨年から引き続き感染レベル毎に新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じながら、図書館サービスの提供やイベントの開催を行いました。

来館者は、3・4階の利用制限や夜間開館を中止した期間があったため約1,300人の減少となりましたが、貸出者数・貸出冊数ともに令和2年度より増加しました。しかし、利用登録者は27,745人と令和2年度より4,886人減少しています。新たな利用者を増やすために、イベントや広報の方策を講じていく必要があります。

また、おはなし会やイベントは、コロナ禍でも安全に安心して参加して頂けるように内容や場所を工夫して開催し、多くの方に参加して頂き目的は達成できました。

しかし、講座においてはコロナ禍のためオンラインでの開催となり、オンラインの場合、著作権の関係上使用できる資料が限られ会場開催と同様の内容で開催することが難しかったり、会場開催の場合と比べて参加者が少なかったりしたので、今後は、講座の内容により、オンライン開催とするか、感染防止対策をしっかりと行い会場開催とするかについて検討していく必要があると考えております。

また、10月から開始した電子図書館サービスは、3月末時点で8,681冊のコンテンツがありますが、閲覧件数は2,674件でしたので、今後はコンテンツの充実を図り、魅力あるサービスとして多くの方に利用して頂けるよう広報等に力を入れていく必要があります。

施設管理においては、駐車場有料化に向けた工事と照明設備LED化改修工事を行いました。駐車場が一部使用できないなど利用者にご不便をおかけしましたが、順調に工事を終わることが出来ました。建設から約30年が経過し施設の老朽化が進んでいますので、快適な読書環境を提供するために維持管理に気を配っていく必要があります。

今後もコロナ感染拡大防止対策を講じながら、市民の読書活動の拠点としてサービスの充実を図り、更なる利用者拡大に努めていく必要があります。

以 上